

博士後期課程

特殊研究

建築設計・意匠特殊研究 4単位 Advanced Studies in History and Philosophy of Architecture

世界の近代・現代建築、歴史的建築、ヴァナキュラー建築を対象とした建築作品分析、すなわち建築デザインの発想と展開、具体化、設計のプロセスの高度な研究を行う。これは建築設計論、建築論、建築史、建築批評の重なりあった領域であり、この領域で有効な建築論・哲学的分析、歴史学的分析、表現論・批評論的分析など高度な分析方法の研究も行う。そして、これらの研究活動を通して、建築学関連分野に展開できる高い問題解決能力を身につけるとともに、専門分野において自立して研究活動ができる能力を養う。

目標: 建築デザインの発想と展開・具体化・設計のプロセスや、建築設計論・建築論・建築史・建築批評の高度な分析方法の研究を行うことにより、建築学関連分野に展開できる高い問題解決能力を身につけ、専門分野において自立して研究活動ができる。

都市・地域計画特殊研究 4単位 Regional and Urban Design

都市・地域の成り立ちに関わる、歴史的背景、構成要因、ダイナミズムなどの諸側面について、具体的な資料や調査を基に、現在から将来にかけて都市・地域社会が抱える問題と課題を洞察かつ予見し得る、独自性に富んだ研究を行う。そして、これらの研究活動を通して、都市・地域計画関連分野に展開できる高い問題解決能力を身につけるとともに、専門分野において自立して研究活動ができる能力を養う。

目標: 都市をシステムとして捉え、1. その成り立ちを説明できる。2. 都市のさまざまな事柄に問題意識を持ち調査・分析できる。3. 都市の課題について研究テーマを設定し、自立して研究活動ができる。

空間構築特殊研究 4単位 Space Construction Systems

建築空間の計画、設計、施工、維持管理、改築をひとつのつながりとして、安全性においても、経済性においても、環境問題としても、正しく実施するために、これらの中のさまざまな側面を調査、研究し、新たな手法を開発し、それが総合的に正しいかどうかを判断できる能力を養う。そして、この過程で、建築学の関連分野にも展開できる高い問題解決能力を身につけるとともに、専門分野において自立して研究開発ができる能力を養う。

目標: 建築空間の計画、設計、施工、維持管理、改築をひとつのつながりとして、そのさまざまな側面を調査、研究できる。これらのさまざまな問題に対する新たな手法を開発するなど、専門分野において自立して研究開発ができる。

建築構造特殊研究 4単位 Structural Engineering

超高層、空間構造、伝統的木造建築物などの建築構造に関する諸問題に対して、先駆的な基礎・応用研究を行う。研究を通して、高度な問題解決能力、建築構造設計や技術開発に展開できる応用力を身につけるとともに、建築構造分野において自立して研究活動ができる能力を養う。

目標: 建築構造学において萌芽的研究テーマを提起することができる国際的視点に立ち、既往の研究に対して自分の研究の位置付けを明確に説明することができる。提起したテーマを展開する方法論を構築し、先駆的な基礎・応用研究に展開することができる。豊かな人間力を持つ高度専門技術者・研究者として、建築構造専門分野において自立して研究活動ができる。

建築環境・設備特殊研究 4単位 Environmental Engineering and Building Systems

我々人間を取り巻く建築や都市の環境を健康で快適な状況に維持し向上させるために必要な建築環境工学や都市環境工学および建築や都市の設備に関する諸問題を研究対象とする。音・光・空気・熱などのさまざまな環境やこれらに係わる建築設備や都市設備などについての理論や技術を取り上げ、これからの時代の建築や都市に求められる新しい理念の構築に寄与することを目指す。また、これらの成果を具体的な建築や都市に適用した環境計画や環境設計にも取り組み、高い問題解決能力を身につけるとともに、専門分野において自立して研究活動ができる能力を養う。

目標: 新しい時代の建築・都市に求められる建築環境・設備分野の理論や技術に関し、先駆的な理念を構築できる。現実の社会で発生する問題に対し、調査研究を通じて解決の方向性を与えられる。建築環境・設備を中心とする専門分野において自立して研究活動ができる。